

加入率低下、担い手不足、活動の停滞、山積する地域課題の解決に

自治会・町内会コンサルティング

コロナ禍こそ、運営や活動のあり方を見直す好機

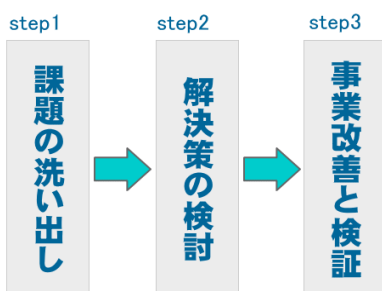
【コンサルティング概要】

ベーシックなスタイルとして年3回のコンサルティングを一つのパッケージとしてご提供しています。

1回目は地域の課題やメンバーの思いや今後の活動へのアイデア等の意見を共有。改善したいことや挑戦したいことを明確にします。2回目はその実現に向けてアドバイザーから情報提供や助言、各種提案を行い、それをたたき台にして取組内容を検討。具体的な取り組み内容が決まれば、実行に向けて必要な支援を行います。3回目ではその分析検証を行い、効果と課題を整理、今後、それをどう生かすか道筋をつけます。事業の間は常に、電話やメールなどで情報をやりとりし、不明な点は相談に乗るなど、伴走型のコンサルティングでサポートを行います。

※コンサルティングはご要望により回数や内容をカスタマイズできます

コンサルティングのステップ



【コンサルタント】



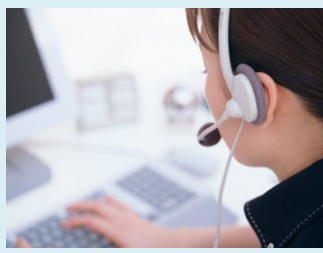
水津陽子（すいづようこ）

1998年独立開業以来、地域活性化・まちづくりの講演、企画コンサルティング、調査研究、執筆を多数手掛ける。

著書



自治会・町内会など、共助コミュニティ活性化に関係した著書



コロナ禍、オンライン相談も一つの選択肢

コロナ禍でも安心安全に緊密なやりとりやサポートが可能なオンラインでのコンサルティングも選択肢の一つです。オンラインの場合、交通宿泊費が不要となるコストダウンのメリットもあります。活動に悩む自治会・町内会のお役に立ちます

【事例】2年で加入率倍増！「あったらいいな」を合言葉に活動活性化

新宿区 町会・自治会活性化支援アドバイザー派遣事業（2018～2019年度）

須賀町町会は加入率が3割を切り、会員の高齢化や担い手不足に悩んでおり、アドバイザー事業では町会の課題や今後のあり方を会長・役員と議論、会員の声を聞くアンケートを行い、「あったらいいな」を実現する運営や活動に転換。2年に渡り、会長の地道な勧誘活動や町会運営の見直しにより、徐々に協力者も増え、様々な活動の充実と広報の強化により、加入率は倍増、不足していた役員の数も大幅に増加。自主性と活気にあふれる町会に生まれ変わりました。

現在は役員間の連絡にLINEを活用、会員向けにメールで会報を配信する等、ITの活用や会員が講師となるサロンや高齢者の見守りにも力を入れており、今後は電子会議の導入も進める予定です。



2020年8月4日 東京新聞で紹介